

津市立三重短期大学附属図書館

おいしそう！



October－November 2026

こんな本読んでみて

No.121



目　次

おいしそう！　1

Book design の 世界 vol.51　10

ちょこちょこ日記 #61　12

おいしそう！

おいしそう！な表紙の本を特集します。

食欲の秋と読書の秋を同時に楽しみませんか？



『うしろむき夕食店』

著　　者／冬森灯
出 版 社／ポプラ社
装　　丁／bookwall
装　　画／イナコ
出 版 年／2021年
請求記号／913.6||F 99

ステンドグラスが美しいレトロな洋館で営まれる「うしろむき夕食店」。選んだおみくじで料理を決める「料理おみくじ」が名物。迷いの中にいる人々の背中をそっと押す温かな絶品料理と優しい物語が広がります。

三人屋で味わえるモーニング、うどん、ごはんなどなど。おいしそう！

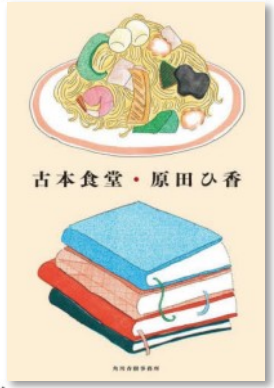


『三人屋』

著　　者／原田ひ香
出 版 社／実業之日本社
カバーデザイン／成見紀子
カバーイラスト／小川かなこ
出 版 年／2018年
請求記号／913.6||H 32

朝は三女・朝日の喫茶店、昼は次女・まひるの讃岐うどん屋、夜は長女・夜月のスナック。時間で姿を変える「三人屋」。三姉妹が営む温かなお店と一癖ある常連客たちが織りなす、人情味あふれる物語です。

第五話に登場する焼きそば。おいしそう！



『古本食堂』

著　　者／原田ひ香
出 版 社／角川春樹事務所
画　　／大塚文香
装　　幀／名久井直子
出 版 年／2022年
請求記号／913.6||H 32

兄の古書店を継いだ珊瑚と、お店を手伝うことになった大学院生の美希喜。東京・神保町の美味しい料理や温かな人々、そして奥深い本の魅力がいっぱい詰まった、読んでいるだけで幸せな気持ちになれる物語です。



ドライカレーは第三章に登場。おいしそう！

『カレーの時間』

著　　者／寺地はるな
出 版 社／実業之日本社
写　　真／山本まりこ
装　　幀／成見紀子
出 版 年／2022年
請求記号／913.6||Te 42

偏屈な祖父と暮らすことになった孫息子の桐矢。レトルトカレーの営業マンだった祖父が半世紀の間抱えてきた秘密とは。一緒に食卓を囲む時間の中で少しずつ祖父の秘密が解かれていく、味わい深い物語です。

第四話に登場するキッシュ。おいしそう！



『ビストロ・ベーテへようこそ 幸せのキッシュロレーヌ』

著　　者／野村美月
出 版 社／KADOKAWA
カバーイラスト／砂糖ゆき
カバーデザイン／青柳奈美
出 版 年／2024年
請求記号／913.6||N 95

不安と好奇心を抱えて辿り着いたのは、バラ咲く庭園の美しい豪邸。謎に包まれたシェフが作る絶品コース料理が、疲れた心を優しくほぐしてくれます。極上のおもてなしに心まで温まる連作短編集です。

台湾旅のはじまりは
小籠包。おいしそう！



『女王さまの休日
マカン・マラン ボヤージュ』

著　　者／古内一絵
出 版 社／中央公論新社
装　　画／西淑
装　　幀／鈴木久美
出 版 年／2025年
請求記号／913.6||F 92

人気の「マカン・マラン」シリーズの番外編。今回は、シャール、ジャダ、さくらが台湾へ旅に出ます。現地の豊かな食や歴史に触れながら、新たな気づきを得て一歩踏み出します。心ときめく旅気分が味わえる一冊です。

昔ながらの雰囲気の
ステーキ。おいしそう！



『おいしい文藝
ぷくぷく、お肉』

著　　者／角田光代 ほか
出 版 社／河出書房新社
カバーデザイン／市川衣梨
カバー装画／植田まほ子
出 版 年／2023年
請求記号／914.68||Ka 28

ステーキにとんかつ、焼肉から生姜焼きまで！有名作家がお肉愛を語り尽くす贅沢なエッセイ32篇が詰まった一冊です。多彩なお肉料理のエピソードを通じて、時代ごとに変化するお肉文化の面白さも味わえます。

さくらんぼとチョコレート
のケーキ。おいしそう！



『お誕生会クロニクル』

著　　者／古内一絵
出 版 社／光文社
装　　幀／鈴木久美
写　　真／©Nico De Pasquale Photography
　　／ Moment ／ ゲッティイメージズ
出 版 年／2020年
請求記号／913.6||F 94

昭和、平成、令和。時代ごとの「お誕生会」を描いた連作短編集です。楽しいイメージの裏にある、切なさやほろ苦さが入り混じる特別な一日を通して、生きることについてしみじみ見つめ直すことができます。

幸せのアップルパイ。
おいしそう！



『今宵も喫茶ドードーのキッチンで。』

著　　者／標野凪
出 版 社／双葉社
カバーデザイン／鈴木久美
カバーイラストレーション／ヤマナカハルナ
出 版 年／2022年
請求記号／913.6||Si 5

住宅街の奥にあるおひとりさま専用カフェ「喫茶ドードー」が舞台の温かな物語。ＳＮＳや仕事で疲れた心に、店主の作るおいしい料理がそっと寄り添います。読むと心がふっと軽くなって、明日からまた頑張りたくなる一冊です。

Book design の世界

vol.51

細山田デザイン事務所

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁（そうてい）」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第51回目は、細山田デザイン事務所（ほそやまだ） です。

アートディレクターの細山田光宣さんが代表を務める細山田デザイン事務所は、料理やライフスタイルの本、児童書から専門書まで、さまざまな書籍や雑誌を中心にデザインしています。著書に『最新版　誰も教えてくれないデザインの基本』(エクスナレッジ／2022年)、『「悩まない」配色の基本』(翔泳社／2023年) などがあります。



撮影：市瀬真以
デザイン：細山田光宣、狩野聡子(細山田デザイン事務所)
スタイリング：青木夕子

最初にご紹介するのは、**『おいしい楽しい！しあわせ４コマレシピ』**(まいのおやつ著／ワニブックス／2023年／596||Ma 31) です。こちらは、かわいい４コマまんがの形でレシピを紹介する一冊です。ラザニアとコールスロー、スープが並ぶ温かな食卓の写真が表紙カバーを飾り、ページを開くとおいしそうな料理とすべて手書きの４コマレシピが並んでいて、自然と楽しい気持ちになれるデザインになっています。

続いてご紹介する**『台湾オニギリ』**(山脇りこ著／主婦の友社／2020年／596.3||Y 47) は、台湾の定番朝ごはん「飯糰（ファントゥアン）」という具だくさんのごはん巻きを進化させた「台湾オニギリ」のレシピが詰まった一冊です。クッキングシートに包まれた台湾オニギリが表紙カバー中央に配置されていて、その両サイドにはさまざまな具材がぎっしり詰まった断面がずらり。台湾オニギリの特徴や魅力が一目で伝わってくるような装丁になっています。



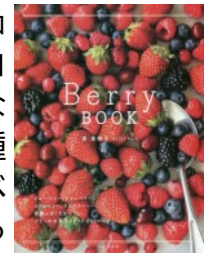
装丁・本文デザイン：細山田光宣、松本歩(細山田デザイン事務所)
撮影：松木潤(主婦の友社)、鈴木江実子
スタイリング：宮田桃子



デザイン：細山田光宣、藤井保奈(細山田デザイン事務所)
撮影：内山めぐみ、だれウマ
調理・スタイリング：青木タ子(エーツー)、だれうま

『極上ずぼら飯』(だれウマ著／ワニブックス／2020年／596||D 41) は、料理初心者でもちょっとしたコツで格別においしくなる全100レシピが掲載された一冊です。表紙カバーには、「究極の玉子丼」が大きく配置されており、背景と器の黒色と玉子の鮮やかな黄色のコントラストが印象的です。「極上」のおいしさがビジュアルから伝わってきて、思わず手に取りたくなる装丁です。

『Berry　BOOK』(原亜樹子著／パルコエンタテインメント事業部／2017年／596.65||H 31) は、ストロベリー、ブルーベリー、クランベリー、ラズベリーなど、身近なベリーを使って、お菓子とドリンクを60種類も楽しめる一冊です。つやつやとした色鮮やかなベリーで一面が埋め尽くされた表紙カバーは、見ているだけできゅんとときめいてしまうかわいさです。おいしくて愛らしいベリーそのものの魅力がたっぷり詰まっているとともに、素材を活かしたレシピへの期待が高まるようなデザインとなっています。



撮影：澤木央子
ブックデザイン：細山田光宣、木寺梓(細山田デザイン事務所)
スタイリング：澤入美佳



料理・撮影・スタイリング：もぅけん
装丁・デザイン：細山田光宣、狩野聡子、室田潤(細山田デザイン事務所)

今回最後の一冊**『魅惑のプリン』**(もぅけん著／立東舎／2021年／596.65||Mo 21) は、基本のプリンから卵を使わないユニークなものまで、奥深いプリンの世界をじっくり堪能できるレシピ集です。表紙カバーを飾るのは、こだわりの器に上品にサーブされた「ピーナッツバターのかぼちゃプリン」。シックな雰囲気が漂う中にもプリンの魅力が存分に引き出されており、これまでのプリンのイメージを覆すような、大人っぽくスタイリッシュなデザインに仕上がっています。

細山田デザイン事務所が手がける本の装丁には、どれも日々の暮らしにそっと寄り添い、心躍る彩りを添えてくれるあたたかな魅力があふれていました。ページをめくる前のワクワク感や料理の楽しさを引き出すデザインの力を、ぜひ実際に手に取って感じてみてください。

Book design の 世界　次回もお楽しみに！

参考：細山田デザイン事務所 ホームページ　https://hosoyamada-design.com/

ちょこちょこ日記 #61 「十三夜のお月見」

秋と言えば、お月見。今年の「中秋の名月（十五夜）」は９月25日でした。月に思いをはせながら、秋の深まりをしみじみと感じた方も多いのではないでしょうか。

実は、お月見の楽しみは十五夜だけではありません。十五夜の約１か月後にもう一度お月見をする「十三夜」という風習があります。今年の十三夜は10月23日です。

日本では古くから、旧暦８月15日を十五夜、旧暦９月13日を十三夜としてお月見を楽しんできました。中秋の名月の習わしは中国から伝わったものですが、十三夜のお月見は日本独自の風習です。十三夜の月は、満月の手前のほんの少し欠けた姿をしています。これから満ちていくその姿に風情を感じるのが日本人らしいところかもしれません。収穫期を迎えた栗や大豆をお供えしたことから、「栗名月」や「豆名月」とも呼ばれてきました。

季節のおいしいものと一緒に、秋の澄んだ空にのぼる美しい月をゆっくりと眺めてみませんか。

【参考図書】

●『月と暮らす。』
藤井旭著／誠文堂新光社／2011年／446||F 57

●『暮らしの図鑑　暦のことば』
山下景子著／翔泳社／2025年／449.34||Y 44

●『日本人が忘れた季節になじむ旧暦の暮らし』
千葉望著／朝日新聞出版／2014年／449.34||C 42

次号 No.122は、2026年12月発行予定です。

こんな本読んでみて　No.121

２０２６年１０月１日　発行

編集･発行　津市立三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

http://www2.library.tsu-cc.ac.jp/